

第13回 創発研究交流会

最先端の計測技術、実験手法、理論・計算・データ科学的手法の中から異分野にも役立ちそうなものを紹介し、物理学教室内の連携研究を創発・促進する

日時: 2026年9月3日(木) 15時～16時(予定)

会場: ハイブリッド(CURIE室(338号室)+Zoom)

Zoomの接続は[こちら](#) あるいは右記QRコードより



**対象: 物理学教室の教員・ポスドクタ・院生、
JSR・東京大学協創拠点CURIE関係者、JSR社員**

講師: 川口 喬吾 准教授 (知の物理学研究センター)

“生物ボディプランと運動の対称性”



現存する動物の多くはマクロな左右対称性を持つが、生物の構成分子はそもそもキラリティを有する。本講演では、この二層構造の謎を組織形成と運動効率の観点から考える。前半では、多細胞組織に見られるネマチック秩序とトポロジカル欠陥が、機能的な組織構築に関わる例を紹介する。後半は、低レイノルズ数における遊泳モデルを通じ、体形の左右相称性や動きの対称性と運動効率の関係を見る。これらを通じ、動物の身体構造が左右対称性に収束した進化的必然性を、物理法則の観点から考察したい。

これまでの交流会

第12回 “加速ミューオンビームの生成と利用”:	木村 真人	助教
第11回 “重力波宇宙物理学と量子計測技術”:	安東 正樹	教授
第10回 “浮揚ナノ粒子における非古典的運動状態の生成”:	相川 清隆	准教授
第9回 “物理と生成AI: 拡散モデルとくりこみ群”:	蘆田 祐人	准教授
第8回 “非平衡量子多体系のための数値解析”:	辻 直人	准教授
第7回 “多様な熱流に由来した熱電効果”:	松浦弘泰	助教
第6回 “量子アルゴリズムと最適化”:	中西 健	特任助教
第5回 “超高圧環境下で磁性を観る”:	北川健太郎	講師
第4回 “アクティブマターの物質相探求と関連技術”:	竹内一将	准教授
第3回 “X線宇宙物理学とその検出技術”: “量子コンピュータを用いた物理系の解析”:	馬場 彩 永野 廉人	准教授 特任研究員
第2回 “マイクロ・ナノスケールの微細構造作製技術”: “先端光技術を用いた中赤外分光および顕微鏡”:	小西 邦昭 井手口 拓郎	准教授 准教授
第1回 “スーパーカミオカンデの水”: “色中心量子センサによる磁場・温度の精密計測”:	中島 康博 佐々木 健人	准教授 助教

<問い合わせ先> CURIE事務室 curie_admin@phys.s.u-tokyo.ac.jp